

至：早池峰山

小田越

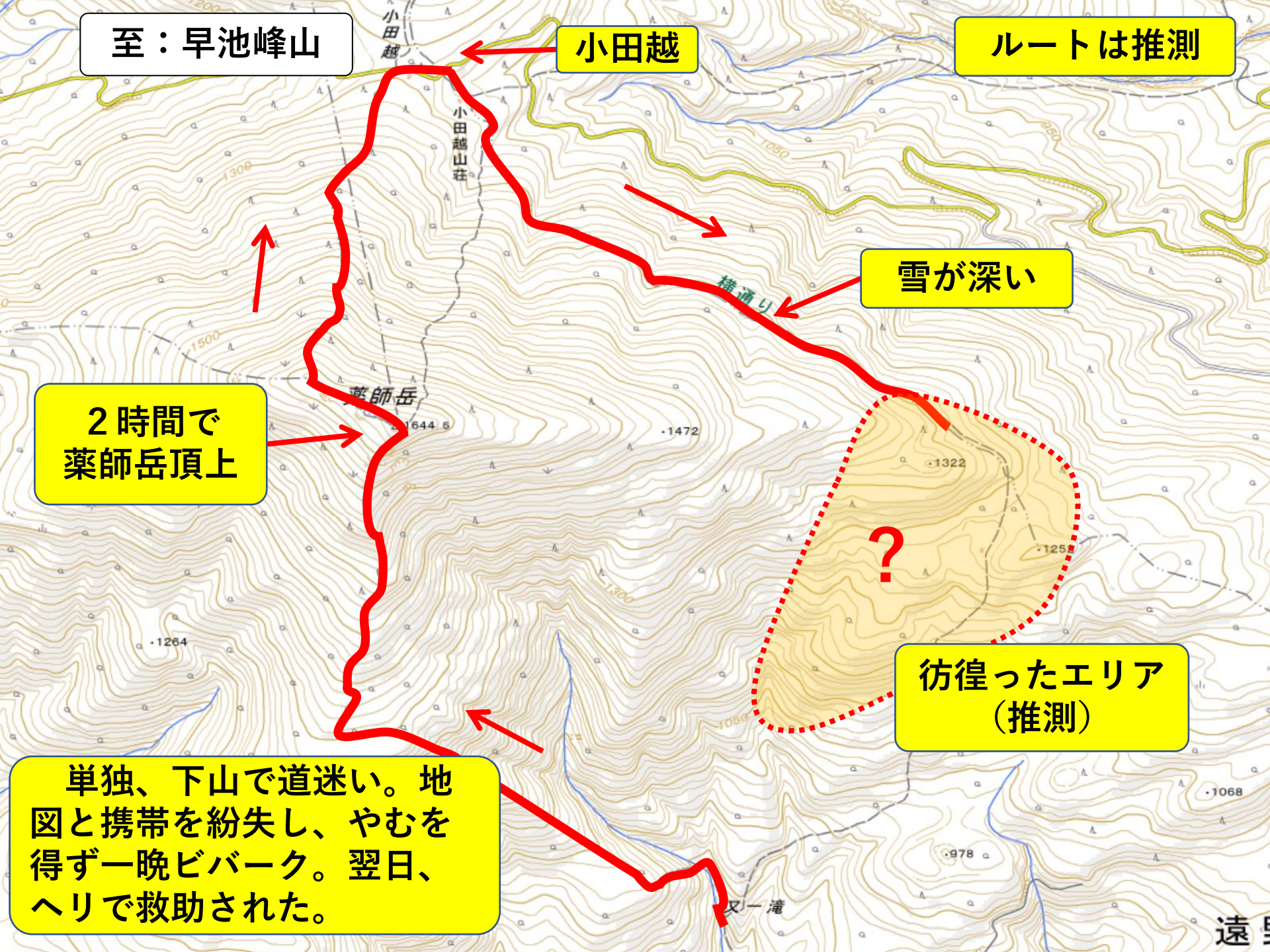
ルートは推測

雪が深い

2時間で
薬師岳頂上

彷徨ったエリア
(推測)

単独、下山で道迷い。地図と携帯を紛失し、やむを得ず一晩ビバーク。翌日、ヘリで救助された。



家族にLINEで「早池峰山いってきます。」とだけ残して出発しました。早池峰山を見たのですが、そこからの400mの下り、700mの登りは、この雪とトレースのなさでは無理だと判断し、下山することにしました。下山途中、雪が深すぎて何度もお尻で滑っているうちに、ザックの後ろのポケットにいていた地図を落としてしまいました。

さらに彷徨っているうちに沢に転落。やむを得ず、びしょびしょになりながら沢をくだるうち、気が付いたら携帯まで無くしてしまいました。「死ぬな」と思いました。これ以上動くと滑落の危険もあると思い、平らな場所をみつけて、救助を待つしかないと覚悟しました。5日の11時ごろだったと思います。薄手のダウンと雨具のジャケットを防寒具として持っていただけで、夜は寒くなりました。

【家族の行動】 数週間前に姉から連絡が途絶えたら「ココヘリ」へ連絡して欲しいと言われていたこともあり、大事をとって電話をしました。

（HP参照）

「ココヘリ」に入っていたため大事に至らなかった事例。現在位置が分からない場合『根拠なく行動し体力が無くなり滑落』というパターンが多い。特に滑落は死に至る場合も多い。登山届はコンパス（compass）がお勧め。下山届が提出されていない場合は一定時間以上経過すると、緊急連絡者に未下山確認メールが届くシステムとなっている。あるものは何でも利用し安全登山を心がけてほしい。